

日本・ブラジル・上島！

上島町の皆さま、ボンジーア！JICA日系社会青年ボランティア、ブラジル派遣の堀本梓織です。2010年の7月にブラジルに来てから早2年、帰国の時期が近づいてきました。広報の連載も、今回が最後。今まで、誌上に掲載させて頂けたこと、目を通して頂いたことを本当にありがたく思います。

最後の回では、私が日系社会に入って感じたことを「3つ」書きたいと思います。

まず、「古き時代の日本」を感じました。伝統を重んじる人々の姿が、地域での団結力の強さがここにはあります。本物の門松を見たことのない人たちが、あーでもない、こーでもないと言いながら、作るのです。また、1年に10回ほどのお祭りなどの行事で自分の利益の為でなく地域のために働くのです。この姿は、今の日本が失くしてしまったものではないでしょうか。

次に「時代の流れ」です。伝統を重んじる一方で、ブラジル社会との融合も避けがたいものになっていきます。顕著に表れているのが、言語の面でしよう。移住地の学校でも、日本語を外国語のように教えないければならなくなっているように感じました。「おはよう」「さようなら」も教えないと、知らない時代になってきたのです。日本でも、世代が、時代が変わるごとに、人も生活も変わるように、日系社会でも、日本とブラジルの文化を受けつつ、移民100年を越え世代が進み、様々なことが変化してきたのでしょうか。

最後に「懐かしさ」を感じました。弓削に生まれ育った私は、日系社会に、地元と似た印象を抱きました。地域の人たちの顔を知っていること、町民運動会や秋祭りなど、地域の行事があることなどです。また、移住地という小さな社会の中に入ることへの難しさを感じることがなかったのは、弓削での生活があったからだと思います。ここに来て、地元のことを改めて考えることが出来てよかったです。

私は、この2年でただけのことが出来たかはわかりませんが、日本を感じさせる風を運んだことが出来

たと思います。そして、日本にいる皆様に少しだけですが、ブラジルに生きている日本をお伝えできたかと思っています。ブラジルは、大きな国で、これからの未来も持っている国です。そこで、日本人が生きていることを知って頂ければ、嬉しく思います。

日系社会も、ブラジルも、とても奥深い国です。びっくりすることも、面白いことも、怖いことも、盛り沢山です。

帰国後は、皆様に少しでもブラジルのことを伝えたいと思っているので、いつでも声をかけてください！



誕生日会



終業式

《堀本梓織 プロフィール》

2009年日本語教師養成講座修了。海外にある日系社会との中で受け継がれている継承日本語教育に興味を持ち、2010年からJICA日系社会青年ボランティアでブラジルに。日々の生活を綴ったブログ「TAPETI 日記」
<http://ameblo.jp/2010j28/>も更新中。

世界も、自分も、変えるシフト。

JICAボランティア参加者募集！

あなたの技術・経験を生かしてみませんか？開発途上国で、現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。派遣期間は原則2年間で、在職中の方が参加される場合は、勤務先に人件費などを補てんする制度もあります。

【募集期間】 4月1日(日)～5月14日(月) 消印有効【対象】

・青年海外協力隊：満20歳～39歳 日本国籍を持つ方
・シニア海外ボランティア：満40歳～69歳 日本国籍を持つ方

【お問い合わせ】JICA四国 TEL 087-1821-8824 [HP] <http://www.jica.go.jp>

こんにちは 町長です



皆さんは、外灯が明るくなっていることにお気づきでしょうか。国のグリーンニューデール基金事業を活用し、上島町の負担ゼロで、町内全域LED機器に交換しました。LEDはこれまでの機器より電気代も安く数倍長持ちするので、大きな節約につながります。

もう一点、私の顔が少しすっきりしたことにもお気づきでしょうか。いきな島一周マラソンに参加する為、2月からほぼ毎日走っています。東京出張中も皇居を走りました。一番短い距離ですが、私は長距離が得意ではない上に、体重オーバーなので、歩いている人に抜かれそうなくらいのスピードしか出ません。しかし、食事制限の効果もあってか、この1ヶ月で5kg減量できました。顎の回りのぜい肉も、無くなってきたような気がします。

また週末の昼間には自転車練習もしています。これは中村知事が世界最大の自転車メーカーである台湾「ジャイアント社」の劉会長をお招きし、広島・愛媛両県知事や尾道・今治市長等が劉会長と共に、しまなみ海道80kmを走破する行事に私も参加する為です。劉会長は現在七十八歳でありながら、超人のような体力を誇り、自転車で走破した者しか会議に参加させない程、自転車を愛する人です。参加者と並走する為に事前訓練をしているので、他のサイクリスト同様、私を島で見かけたら、どうか声をかけて下さい。

上島町長

上村 俊之